

平成 29 年度  
草津市のまちづくりについての  
市民意識調査結果報告書

草津市

## 目次

1. 調査概要 .....	1
2. 調査結果 .....	2
(1) 回答者属性 .....	2
①性別	
②年齢	
③居住年数	
④転入歴	
⑤居住地区	
(2) 基本方針別にみる満足度評価と重要度評価 .....	5
①「人」が輝くまちをつくるための基本方針	
②「安心」が得られるまちをつくるための基本方針	
③「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針	
④「活気」があふれるまちをつくるための基本方針	
⑤「行財政マネジメント」のための基本方針	
(3) まちの住み心地や日常の生活行動など .....	20
①まちの住み心地など	
②日常の生活行動など	
③市民であることの誇りや定住意向	
(4) 草津市のイメージ .....	24
①都市イメージ	
②地域資源	

## 1. 調査概要

### 【調査目的】

平成 29 年度から開始した第 5 次草津市総合計画第 3 期基本計画における、市の取組に対する市民意識を確認し、市政運営の参考とすることを目的とする。

### 【調査対象者】

市民 3,000 人

### 【選定方法】

住民基本台帳の 18 歳以上の者から、年齢、居住地域の 2 段階による層化無作為抽出とした。

### 【抽出条件】

抽出基準日：平成 30 年 1 月 1 日（月）

### 【調査方法】

調査は無記名とし、平成 30 年 2 月 9 日（金）から 2 月 26 日（月）を調査期間として、郵送およびインターネットにより実施した。

### 【回収状況】

有効回答数 785 件、有効回答率 26.2%を得た。有効回答のうち、郵送による回答が 566 件で 72.1%、インターネットによる回答が 219 件で 27.9%であった。

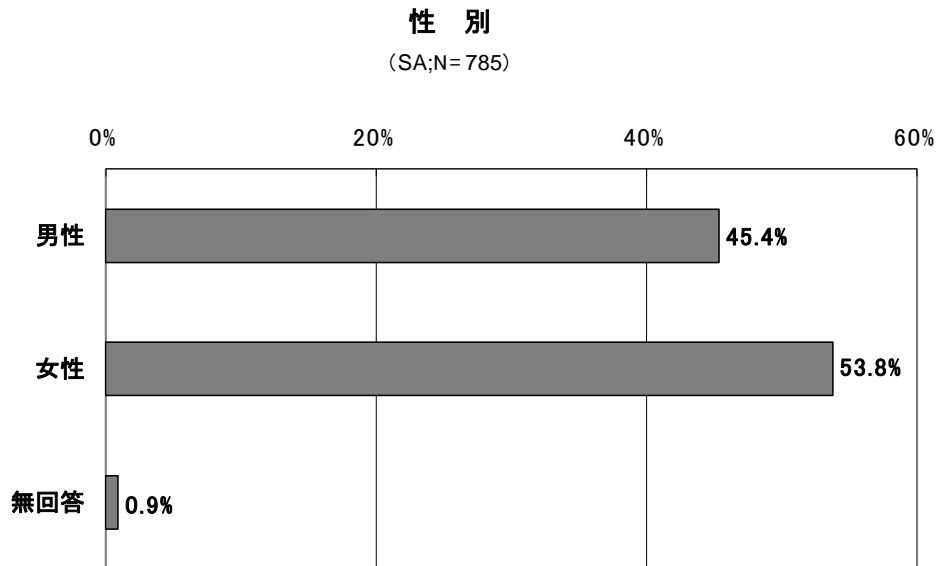
**調査結果の表記について：**百分率については、調査の有効回答（N）を基数として算出している。小数点第 2 位以下を四捨五入しているため、それぞれの数字の合計が必ずしも 100.0%にならない。また、グラフ内に示した記号のうち SA は単数回答、MA は複数回答を示す。

## 2. 調査結果

### (1) 回答者属性

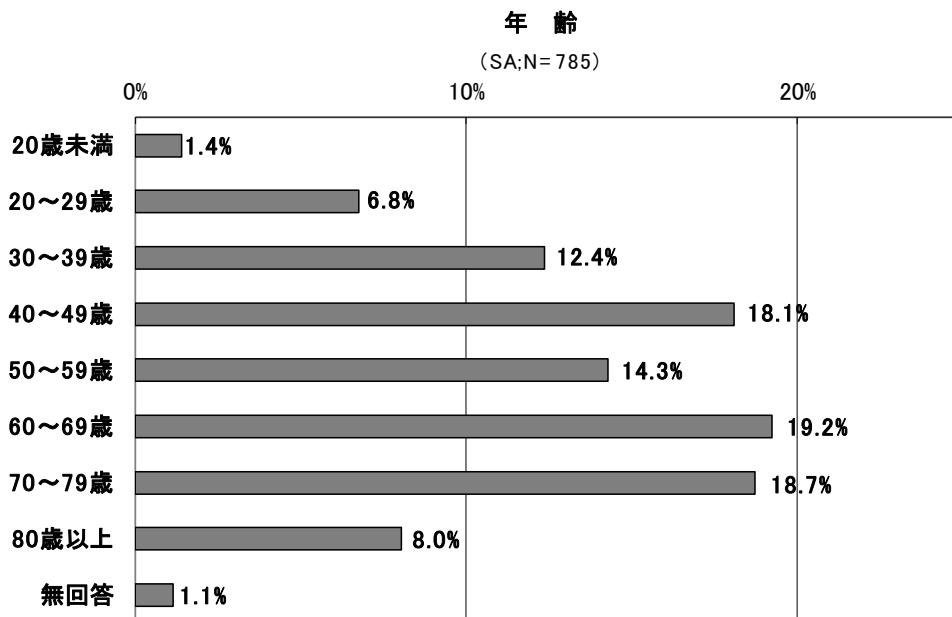
#### ①性別

「男性」が45.4%、「女性」が53.8%となっています。



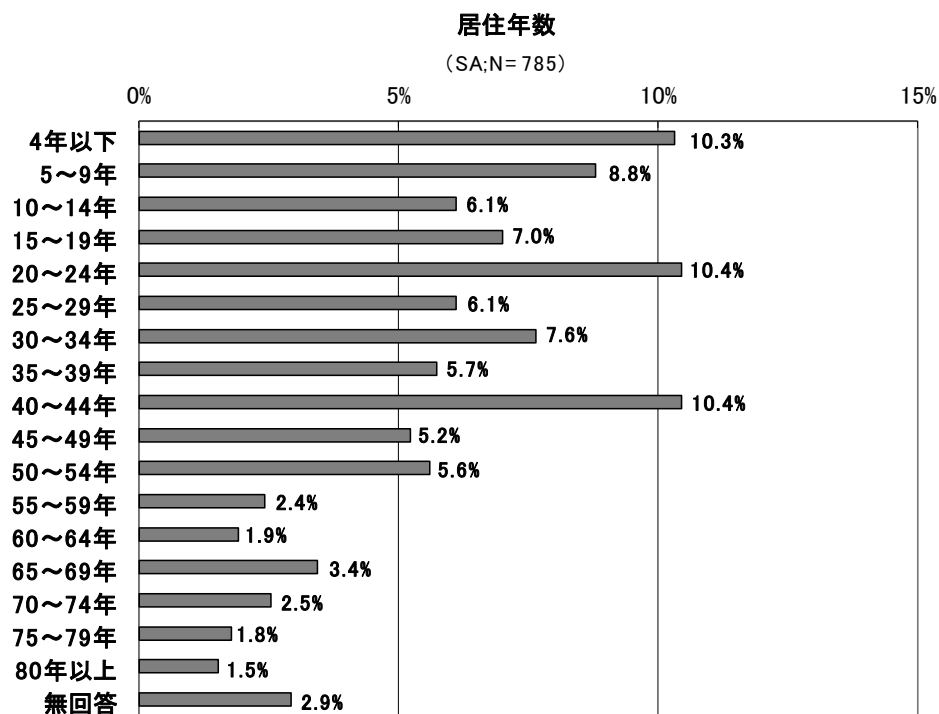
#### ②年齢

「60～69歳」が最も多く19.2%、次いで「70～79歳」が18.7%、「40～49歳」が18.1%などとなっています。



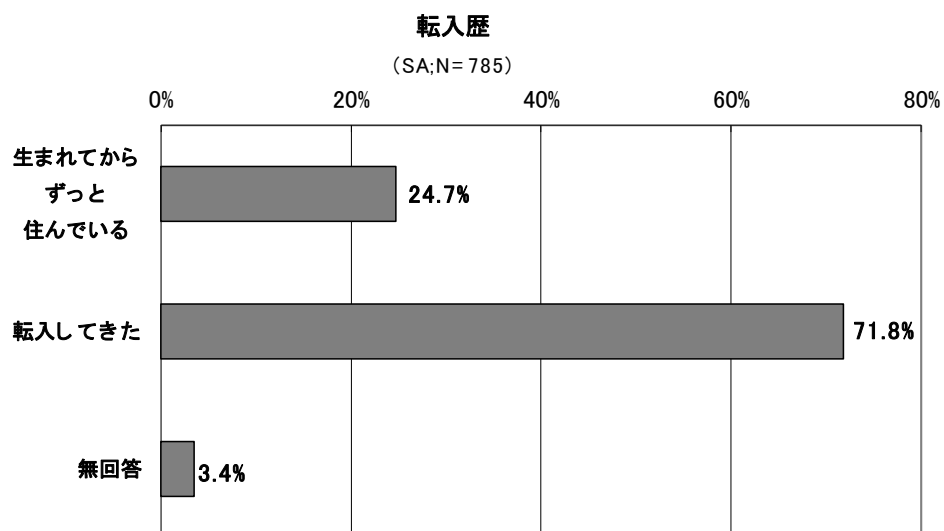
### ③居住年数

「20～24年」と「40～44年」が最も多く10.4%、次いで「4年以下」が10.3%、「5～9年」が8.8%、「30～34年」が7.6%などとなっています。



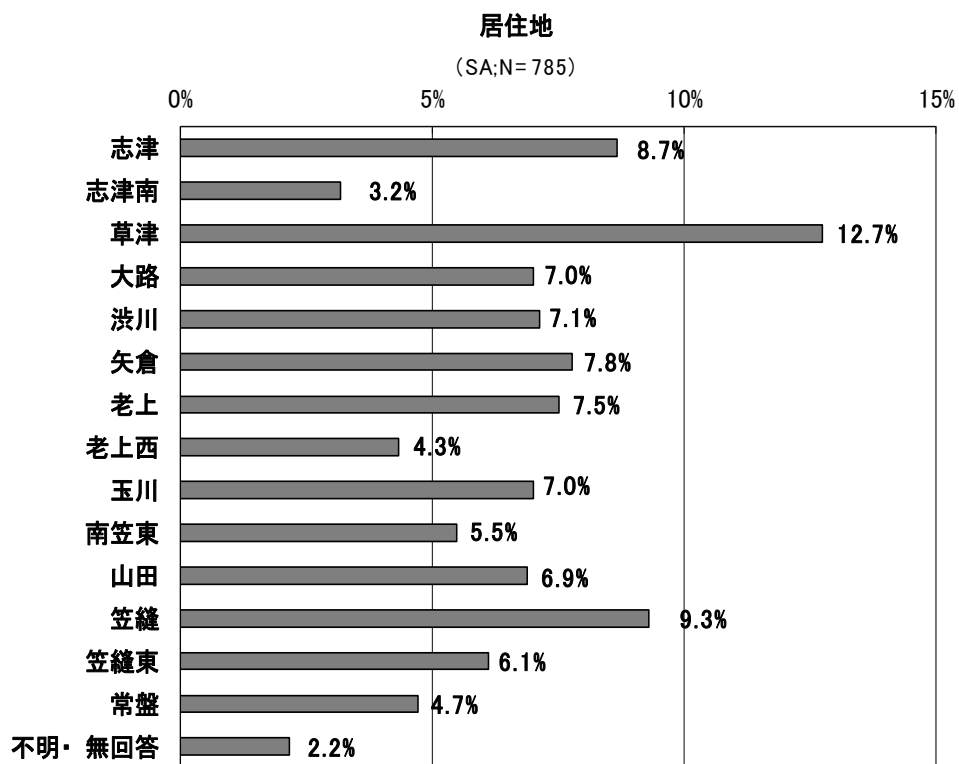
### ④転入歴

「生まれてからずっと住んでいる」が24.7%、「転入してきた」が71.8%となっています。



⑤居住地区

「草津」が最も多く12.7%、次いで「笠縫」が9.3%、「志津」が8.7%、「矢倉」が7.8%などとなっています。



## (2) 基本方針別にみる満足度評価と重要度評価

### ①「人」が輝くまちをつくるための基本方針

#### 【満足度評価】

「満足」は「人権の尊重」が最も多く 8.2%、次いで「子どもの生きる力を育む教育の推進」が 5.4%などとなっています。

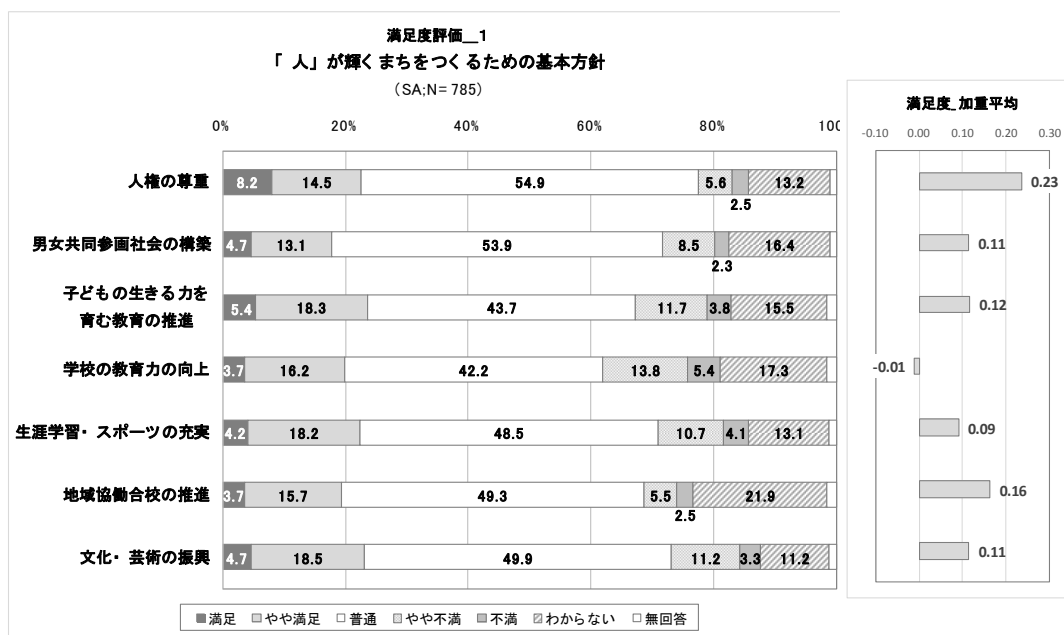
「やや満足」は「文化・芸術の振興」が最も多く 18.5%、次いで「子どもの生きる力を育む教育の推進」が 18.3%などとなっています。

「普通」は「人権の尊重」が最も多く 54.9%、次いで「男女共同参画社会の構築」が 53.9%などとなっています。

「やや不満」は「学校の教育力の向上」が最も多く 13.8%、次いで「子どもの生きる力を育む教育の推進」が 11.7%などとなっています。

「不満」は「学校の教育力の向上」が最も多く 5.4%、次いで「生涯学習・スポーツの充実」が 4.1%などとなっています。

「わからない」は「地域協働校の推進」が最も多く 21.9%、次いで「学校の教育力の向上」が 17.3%などとなっています。



加重平均について：「満足 (2)」「やや満足 (1)」「普通 (0)」「やや不満 (-1)」「不満 (-2)」の加重評点を与えて平均点を求めたものである。

**【重要度評価】**

「思う」は「学校の教育力の向上」が最も多く 39.4%、次いで「子どもの生きる力を育む教育の推進」が 37.8%などとなっています。

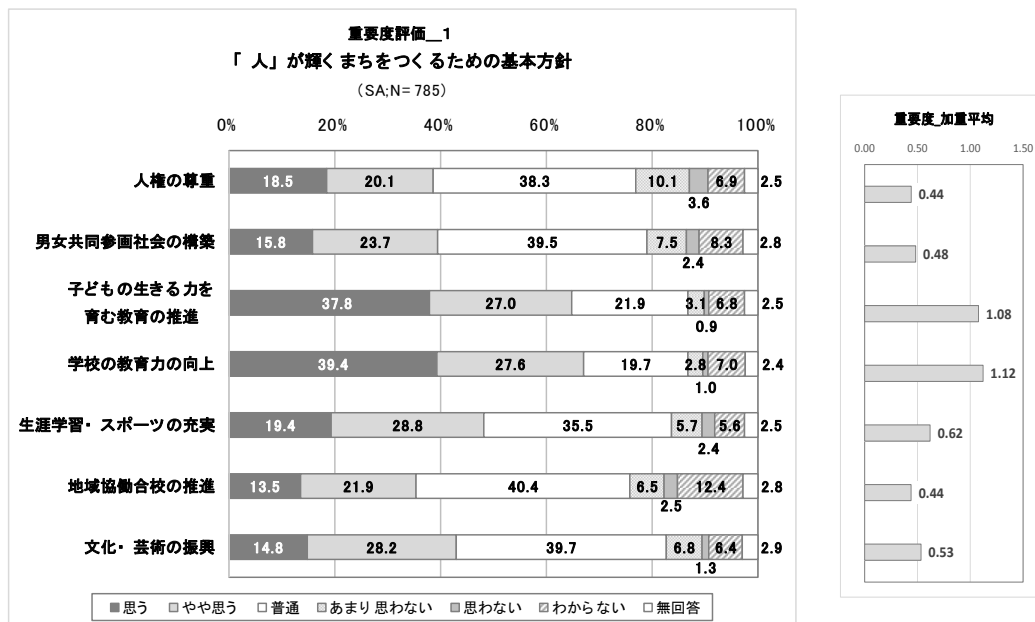
「やや思う」は「生涯学習・スポーツの充実」が最も多く 28.8%、次いで「文化・芸術の振興」が 28.2%などとなっています。

「普通」は「地域協働合校の推進」が最も多く 40.4%、次いで「文化・芸術の振興」が 39.7%などとなっています。

「あまり思わない」は「人権の尊重」が最も多く 10.1%、次いで「男女共同参画社会の構築」が 7.5%などとなっています。

「思わない」は「人権の尊重」が最も多く 3.6%、次いで「地域協働合校の推進」が 2.5%などとなっています。

「わからない」は「地域協働合校の推進」が最も多く 12.4%、次いで「男女共同参画社会の構築」が 8.3%などとなっています。



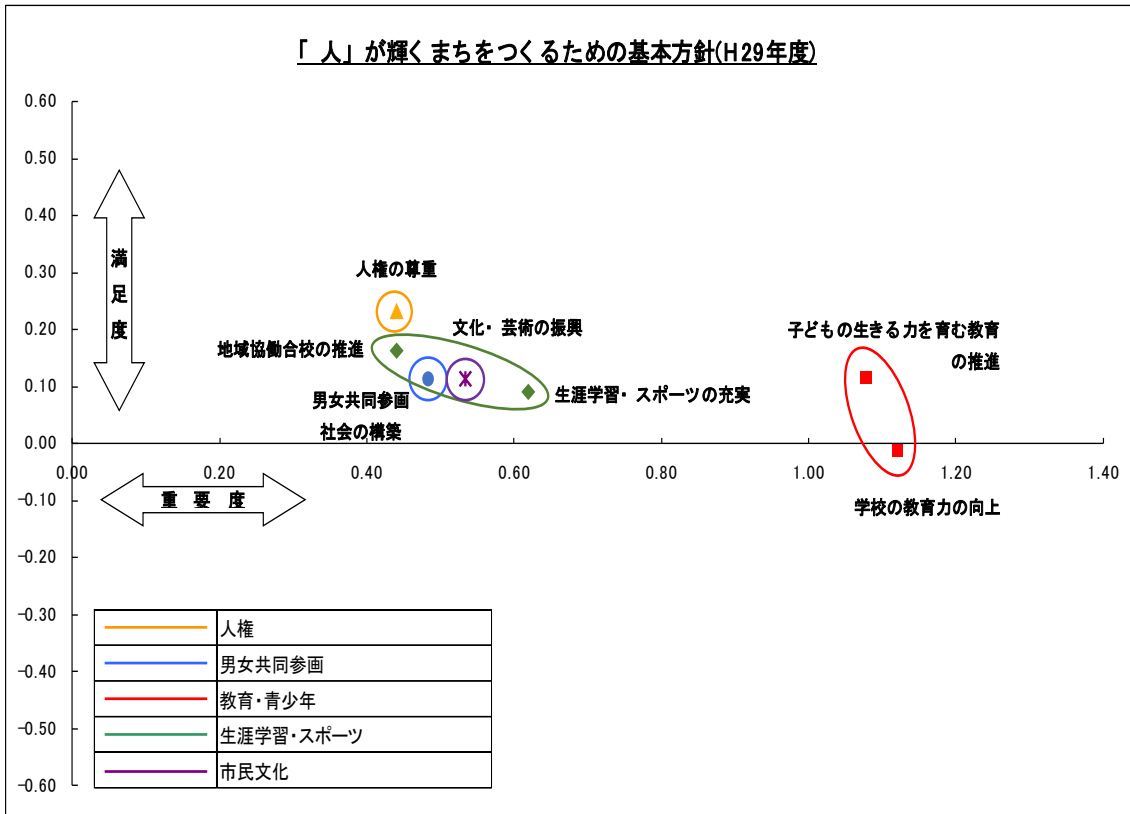
加重平均について：「思う (2)」「やや思う (1)」「普通 (0)」「あまり思わない (-1)」「思わない (-2)」の加重評点を与えて平均点を求めたものである。



【満足度と重要度】

「人」が輝くまちをつくるための基本方針のうち、「教育・青少年」の分野は他の分野と比較し、重要度が高くなっています。

また「学校の教育力の向上」の基本方針は、全ての基本方針の加重平均の平均値(満足度 0.08、重要度 0.67)と比較して満足度が低く、重要度が高くなっています。



## ②「安心」が得られるまちをつくるための基本方針

### 【満足度評価】

「満足」は「市民の健康づくり」が最も多く 6.4%、次いで「医療保険制度の適正運用」が 6.1% などとなっています。

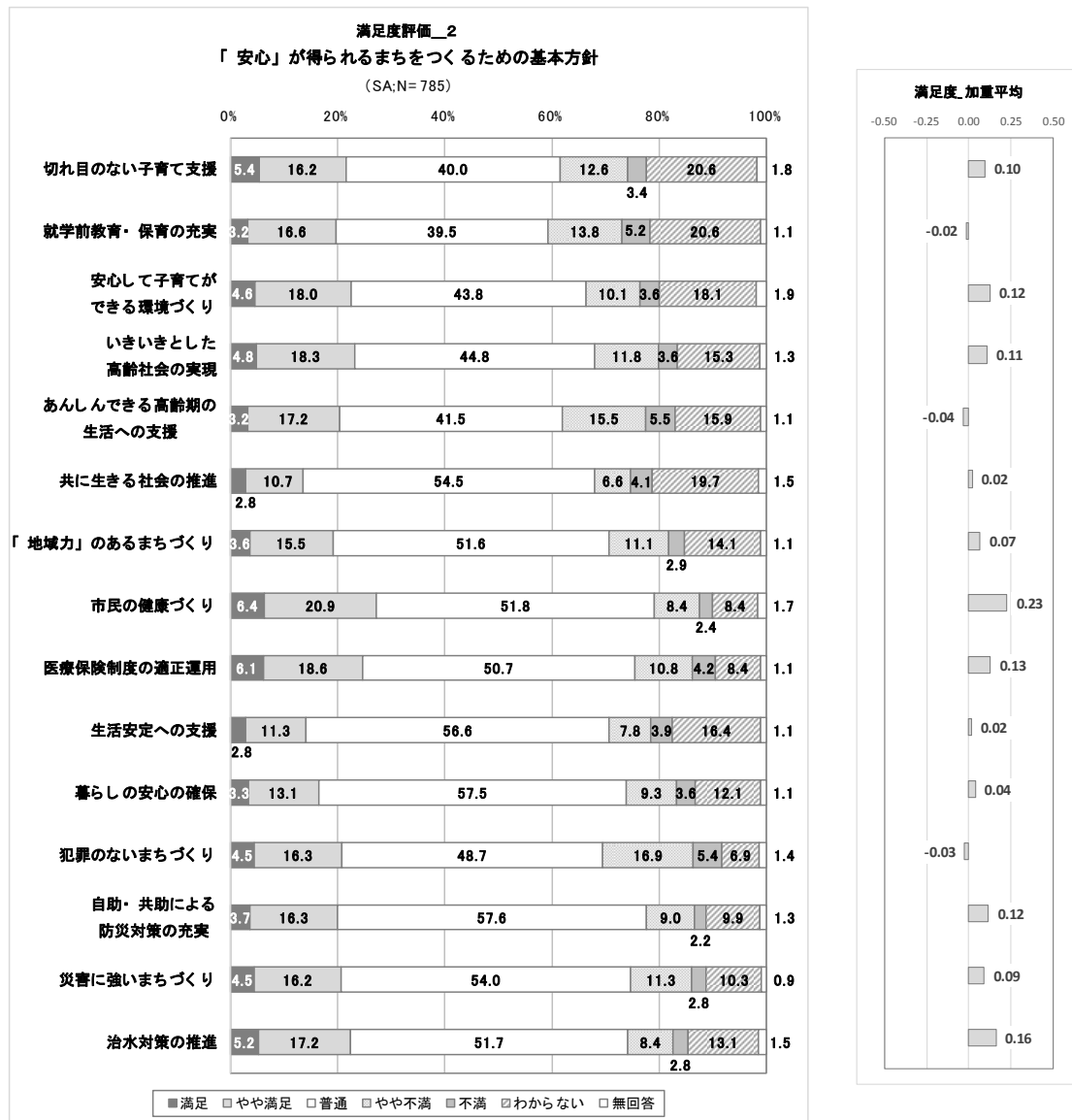
「やや満足」は「市民の健康づくり」が最も多く 20.9%、次いで「医療保険制度の適正運用」が 18.6% などとなっています。

「普通」は「自助・共助による防災対策の充実」が最も多く 57.6%、次いで「暮らしの安心の確保」が 57.5% などとなっています。

「やや不満」は「犯罪のないまちづくり」が最も多く 16.9%、次いで「あんしんできる高齢期の生活への支援」が 15.5% などとなっています。

「不満」は「あんしんできる高齢期の生活への支援」が最も多く 5.5%、次いで「犯罪のないまちづくり」が 5.4% などとなっています。

「わからない」は「切れ目のない子育て支援」と「就学前教育・保育の充実」が最も多く、それぞれ 20.6%、次いで「共に生きる社会の推進」が 19.7% などとなっています。



## 【重要度評価】

「思う」は「犯罪のないまちづくり」が最も多く 44.5%、次いで「あんしんできる高齢期の生活への支援」が 41.7%などとなっています。

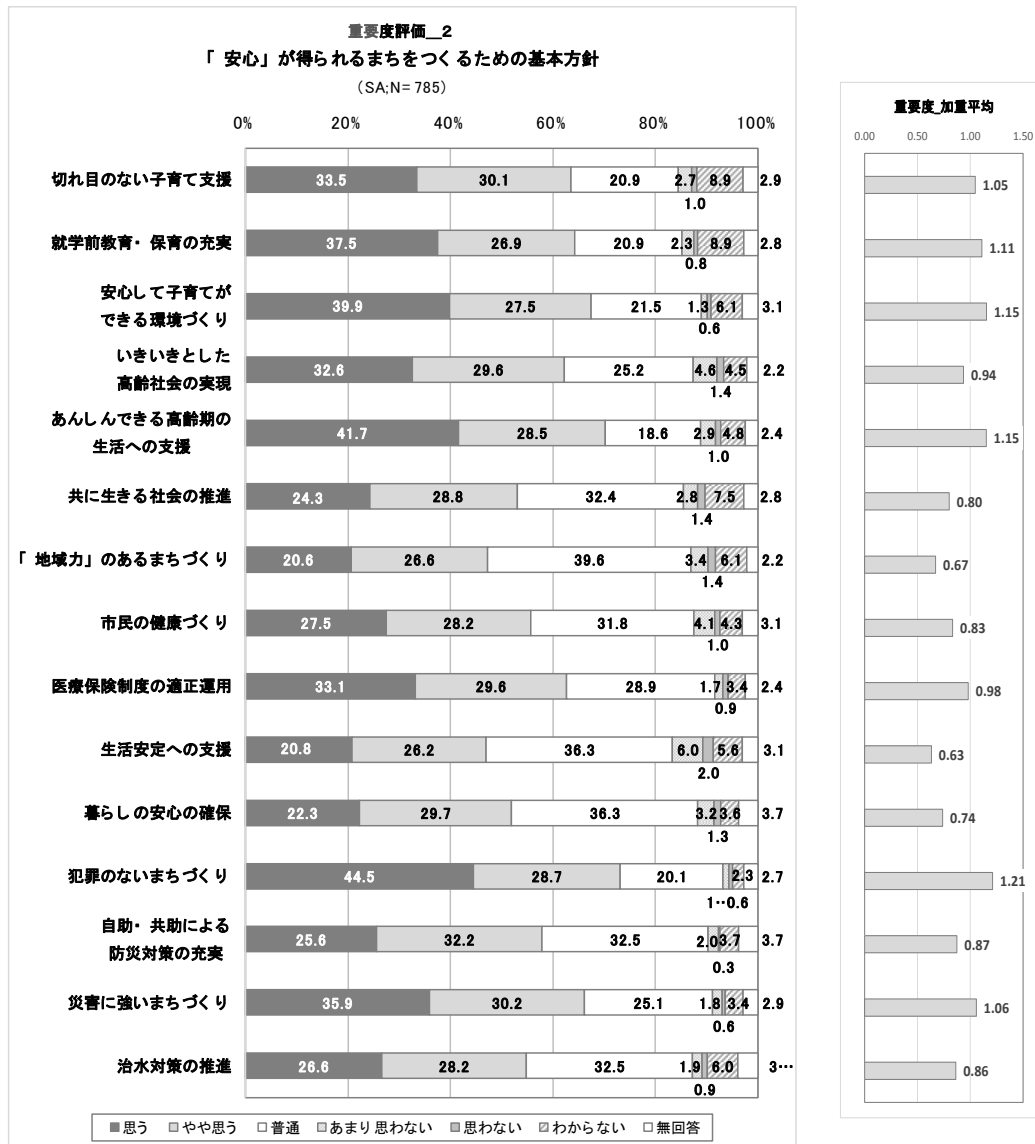
「やや思う」は「自助・共助による防災対策の充実」が最も多く 32.2%、次いで「災害に強いまちづくり」が 30.2%などとなっています。

「普通」は「『地域力』のあるまちづくり」が最も多く 39.6%、次いで「生活安定への支援」と「暮らしの安心の確保」がそれぞれ 36.3%などとなっています。

「あまり思わない」は「生活安定への支援」が最も多く 6.0%、次いで「いきいきとした高齢社会の実現」が 4.6%などとなっています。

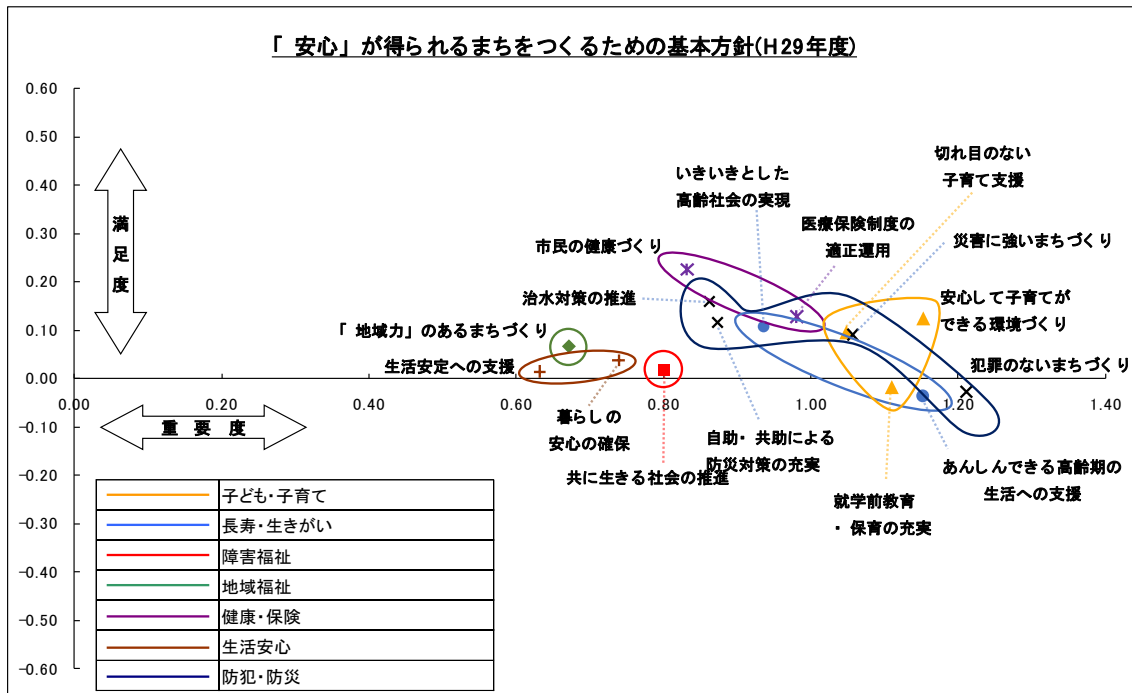
「思わない」は「生活安定への支援」が最も多く 2.0%、次いで「いきいきとした高齢社会の実現」と「共に生きる社会の推進」、『地域力』のあるまちづくり」がそれぞれ 1.4%などとなっています。

「わからない」は「切れ目のない子育て支援」と「就学前教育・保育の充実」が最も多く、それぞれ 8.9%、次いで「共に生きる社会の推進」が 7.5%などとなっています。



### 【満足度と重要度】

「安心」が得られるまちをつくるための基本方針は、全ての分野で重要度が高くなっています。  
 「子ども・子育て」の分野では、「安心して子育てができる環境づくり」「切れ目のない子育て支援」の基本方針が、全ての基本方針の加重平均の平均値（満足度 0.08、重要度 0.67）と比較して満足度・重要度ともに高くなっているのに対し、「就学前教育・保育」の基本方針は満足度が低く、重要度が高くなっています。



### ③「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針

#### 【満足度評価】

「満足」は「水の安定供給」が最も多く 14.1%、次いで「下水道の安定基盤づくり」が 11.0% などとなっています。

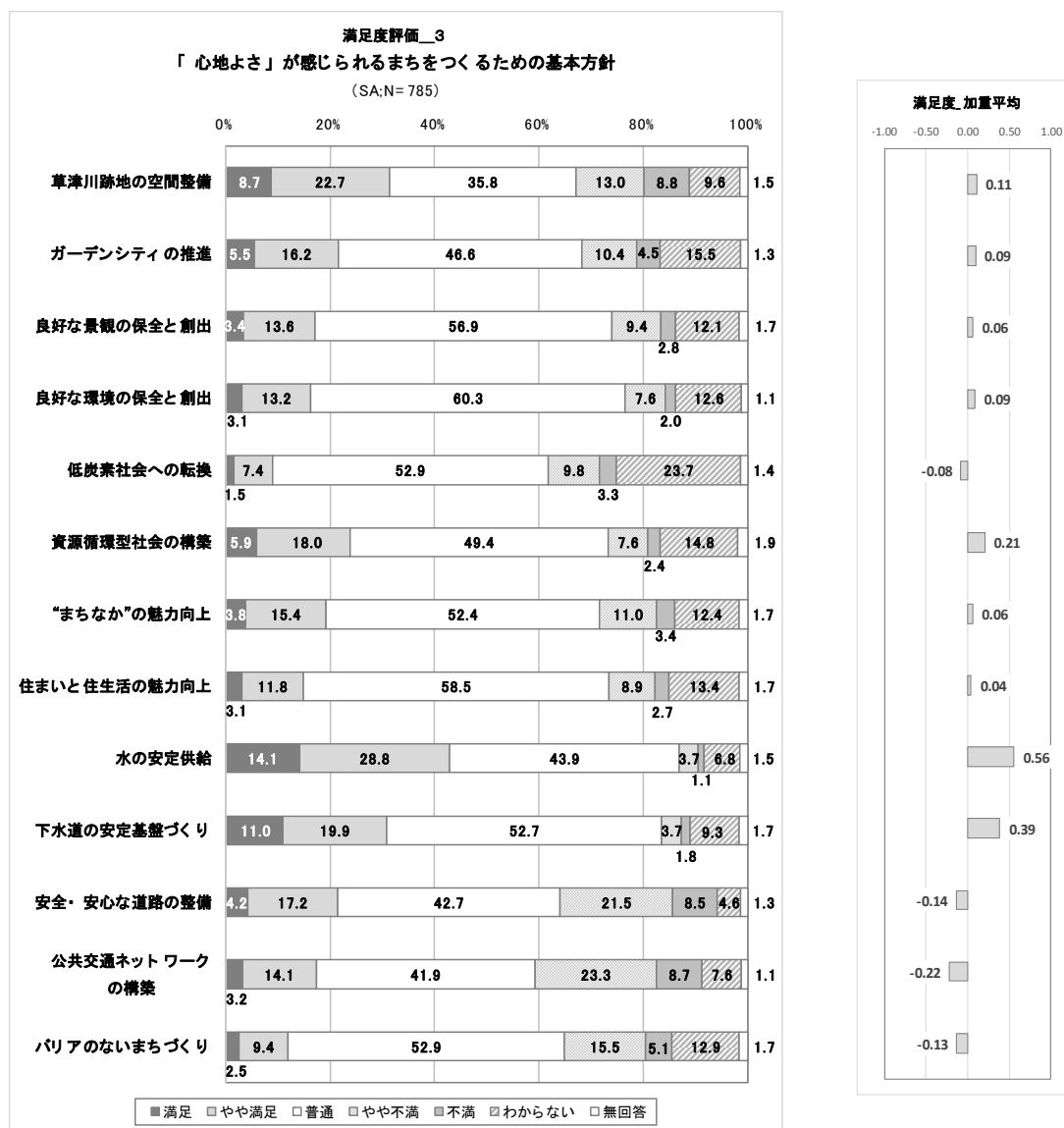
「やや満足」は「水の安定供給」が最も多く 28.8%、次いで「草津川跡地の空間整備」が 22.7% などとなっています。

「普通」は「良好な環境の保全と創出」が最も多く 60.3%、次いで「住まいと住生活の魅力向上」が 58.5% などとなっています。

「やや不満」は「公共交通ネットワークの構築」が最も多く 23.3%、次いで「安全・安心な道路の整備」が 21.5% などとなっています。

「不満」は「草津川跡地の空間整備」が最も多く 8.8%、次いで「公共交通ネットワークの構築」が 8.7% などとなっています。

「わからない」は「低炭素社会への転換」が最も多く 23.7%、次いで「ガーデンシティの推進」が 15.5% などとなっています。



【重要度評価】

「思う」は「安全・安心な道路の整備」が最も多く 34.1%、次いで「水の安定供給」が 29.7% などとなっています。

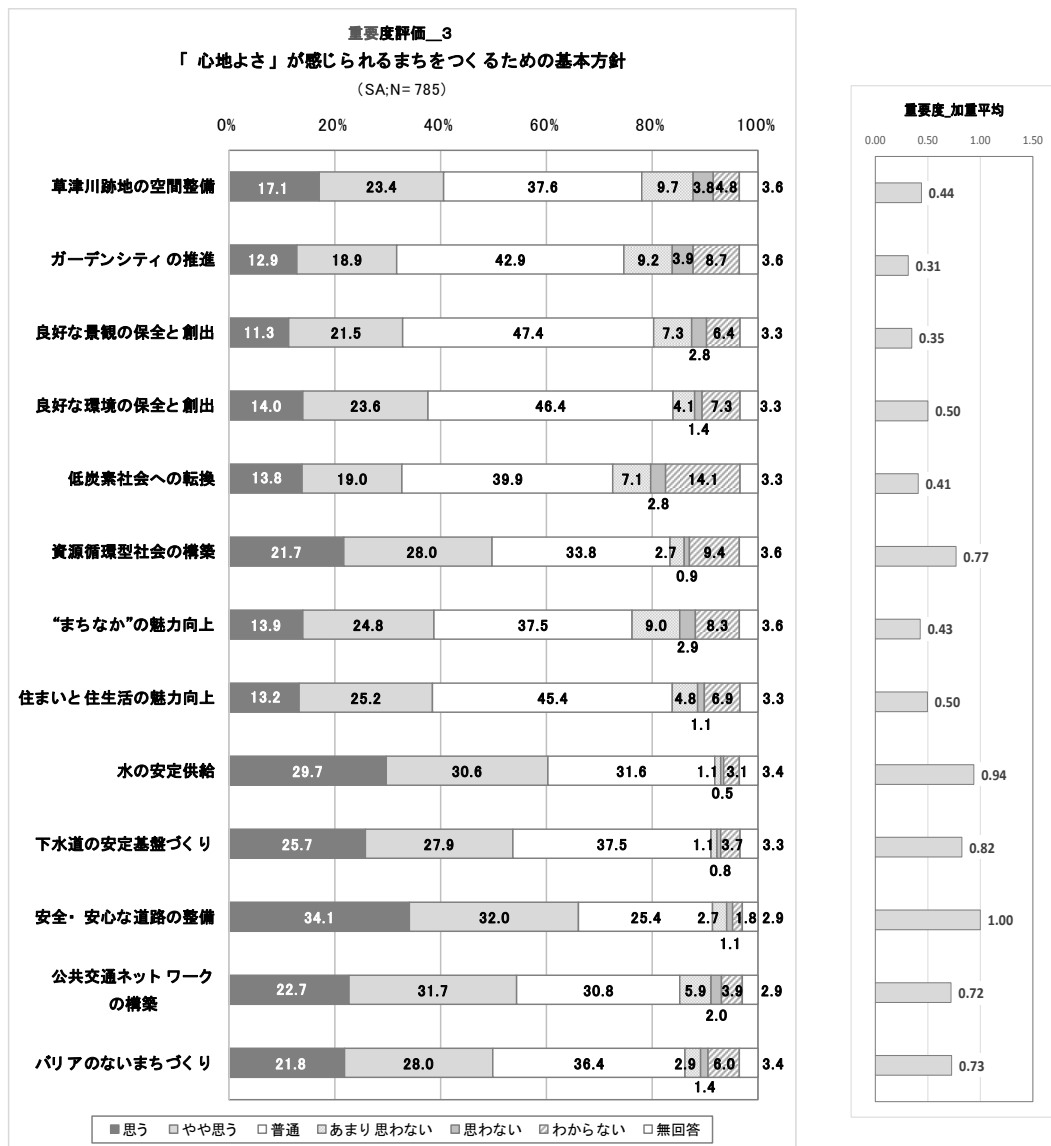
「やや思う」は「安全・安心な道路の整備」が最も多く 32.0%、次いで「公共交通ネットワークの構築」が 31.7% などとなっています。

「普通」は「良好な景観の保全と創出」が最も多く 47.4%、次いで「良好な環境の保全と創出」が 46.4% などとなっています。

「あまり思わない」は「草津川跡地の空間整備」が最も多く 9.7%、次いで「ガーデンシティの推進」が 9.2% などとなっています。

「思わない」は「ガーデンシティの推進」が最も多く 3.9%、次いで「草津川跡地の空間整備」が 3.8% などとなっています。

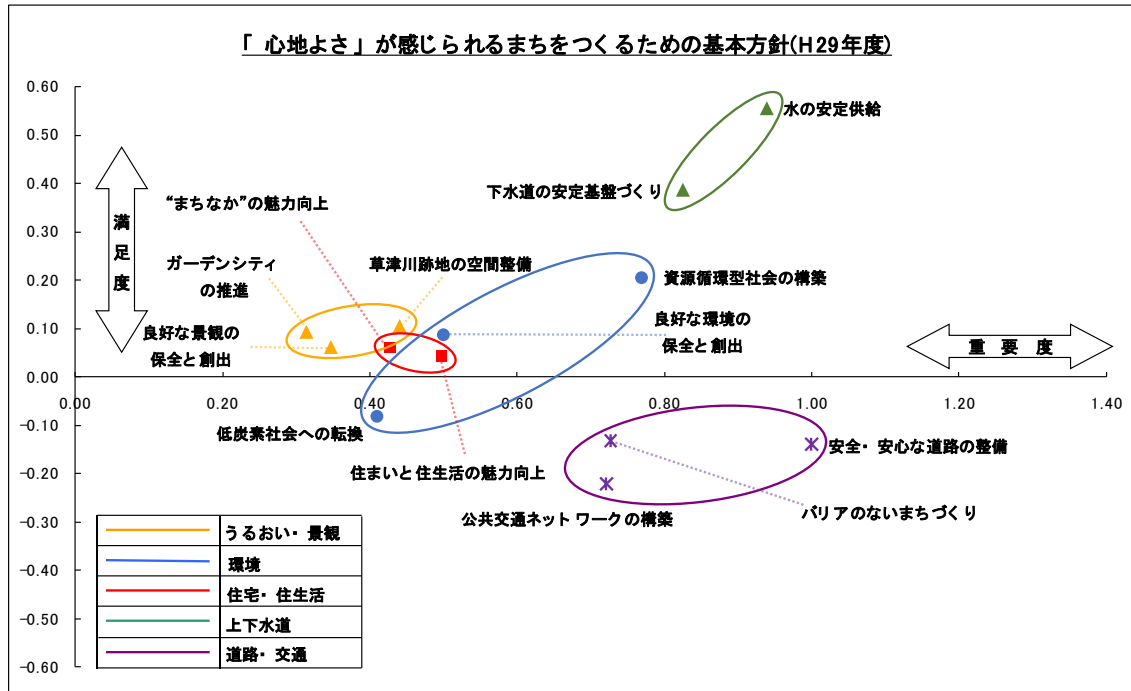
「わからない」は「低炭素社会への転換」が最も多く 14.1%、次いで「資源循環型社会の構築」が 9.4% などとなっています。



### 【満足度と重要度】

「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針のうち、「上下水道」の分野は満足度・重要度ともに他の分野よりも高くなっています。

一方「道路・交通」の分野は、全ての基本方針の加重平均の平均値（満足度 0.08、重要度 0.67）と比較して満足度が低く、重要度が高くなっています。



#### ④「活気」があふれるまちをつくるための基本方針

##### 【満足度評価】

「満足」は「観光の振興」が最も多く6.5%、次いで「中心市街地の活性化」が5.2%などとなっています。

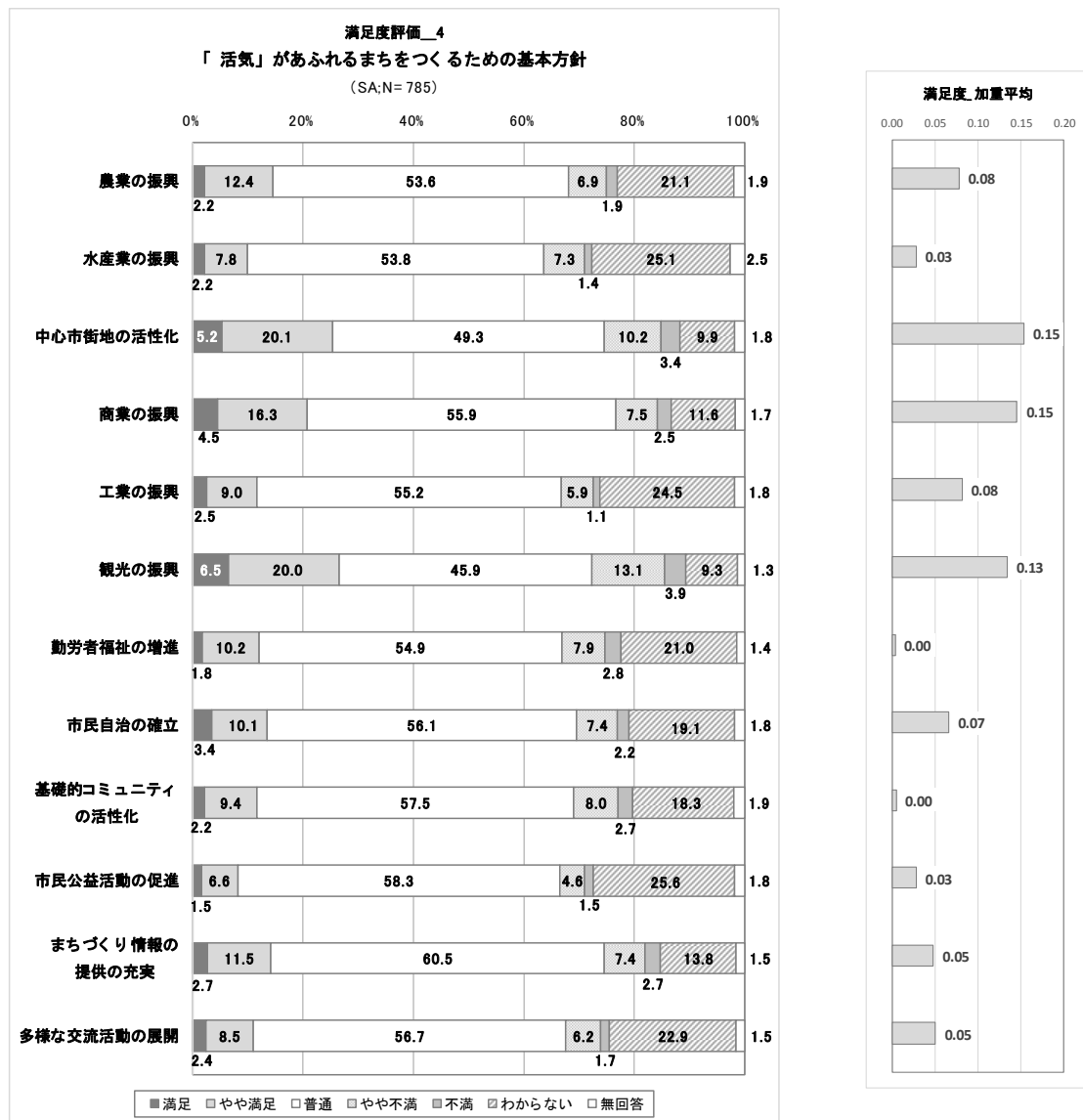
「やや満足」は「中心市街地の活性化」が最も多く20.1%、次いで「観光の振興」が20.0%などとなっています。

「普通」は「まちづくり情報の提供の充実」が最も多く60.5%、次いで「市民公益活動の促進」が58.3%などとなっています。

「やや不満」は「観光の振興」が最も多く13.1%、次いで「中心市街地の活性化」が10.2%などとなっています。

「不満」は「観光の振興」が最も多く3.9%、次いで「中心市街地の活性化」が3.4%などとなっています。

「わからない」は「市民公益活動の促進」が最も多く25.6%、次いで「水産業の振興」が25.1%などとなっています。





【重要度評価】

「思う」は「観光の振興」が最も多く 20.6%、次いで「農業の振興」が 14.9%などとなっています。

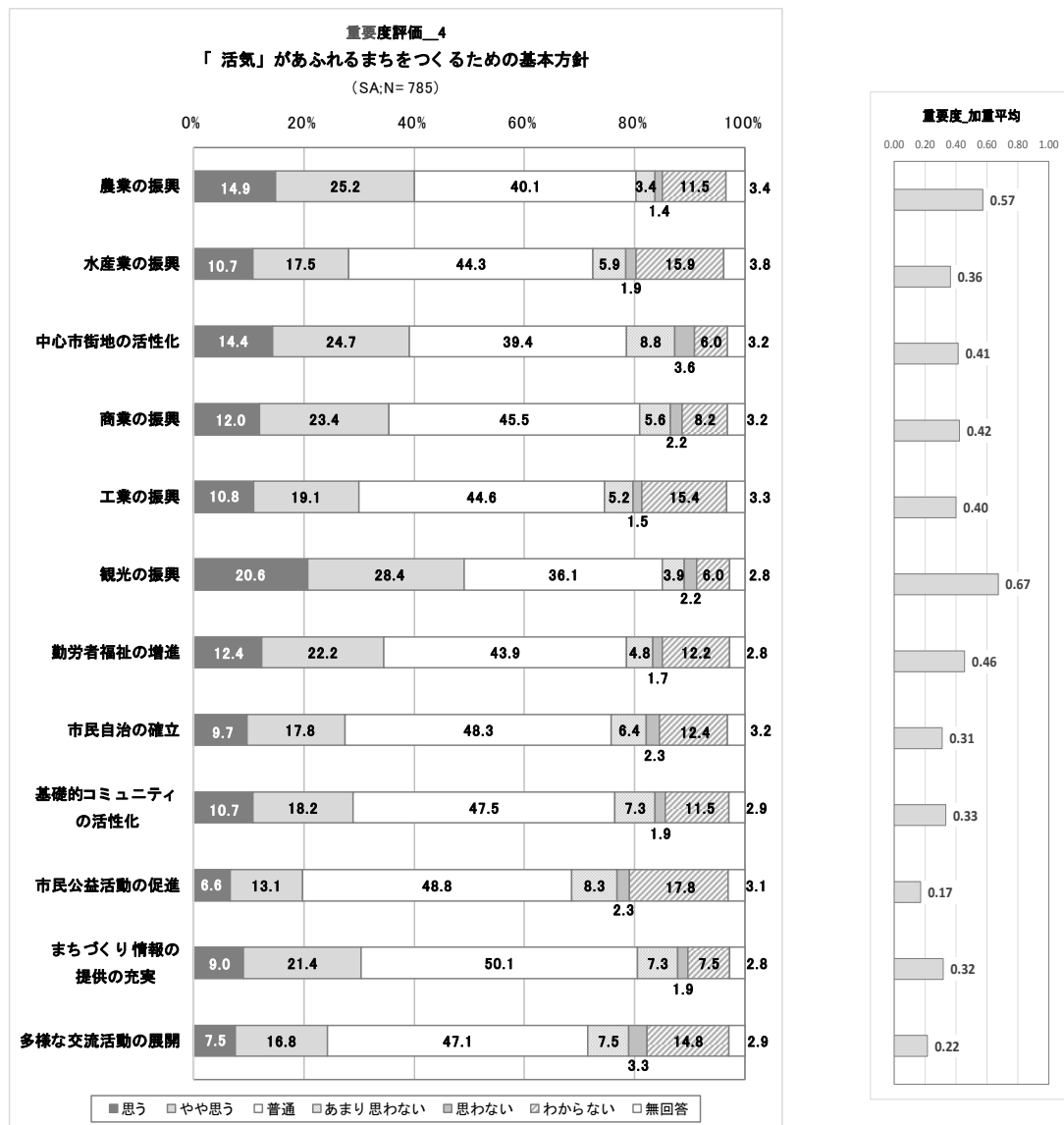
「やや思う」は「観光の振興」が最も多く 28.4%、次いで「農業の振興」が 25.2%などとなっています。

「普通」は「まちづくり情報の提供の充実」が最も多く 50.1%、次いで「市民公益活動の促進」が 48.8%などとなっています。

「あまり思わない」は「中心市街地の活性化」が最も多く 8.8%、次いで「市民公益活動の促進」が 8.3%などとなっています。

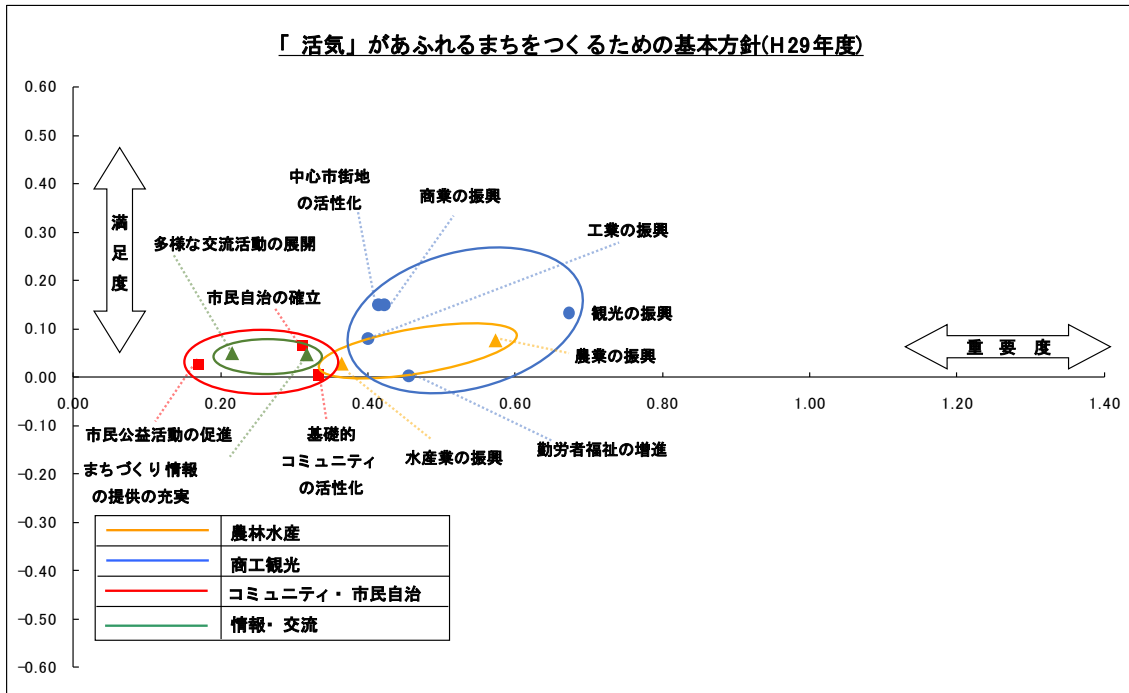
「思わない」は「中心市街地の活性化」が最も多く 3.6%、次いで「多様な交流活動の展開」が 3.3%などとなっています。

「わからない」は「市民公益活動の促進」が最も多く 17.8%、次いで「水産業の振興」が 15.9%などとなっています。



【満足度と重要度】

「活気」があふれるまちをつくるための基本方針は、どの分野においても全ての基本方針の加重平均の平均値（満足度 0.08、重要度 0.67）と比較して満足度、重要度ともに平均値を下回るものが多くなっています。



⑤ 「行財政マネジメント」のための基本方針

【満足度評価】

「満足」は「職員力の向上」が最も多く 3.2%などとなっています。

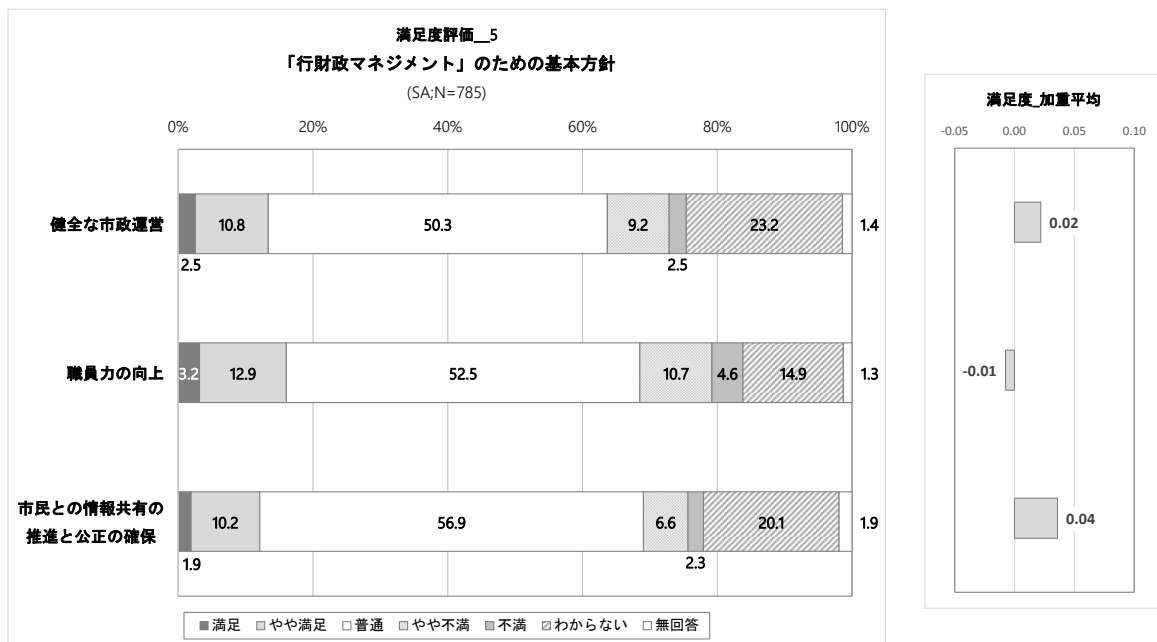
「やや満足」は「職員力の向上」が最も多く 12.9%などとなっています。

「普通」は「市民との情報共有の推進と公正の確保」が最も多く 56.9%などとなっています。

「やや不満」は「職員力の向上」が最も多く 10.7%などとなっています。

「不満」は「職員力の向上」が最も多く 4.6%などとなっています。

「わからない」は「健全な市政運営」が最も多く 23.2%などとなっています。



**【重要度評価】**

「思う」は「職員力の向上」が最も多く 24.8%などとなっています。

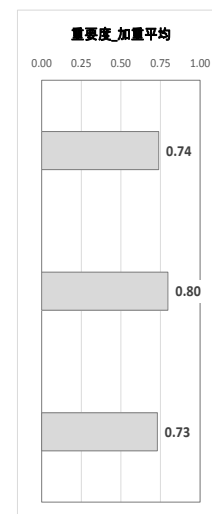
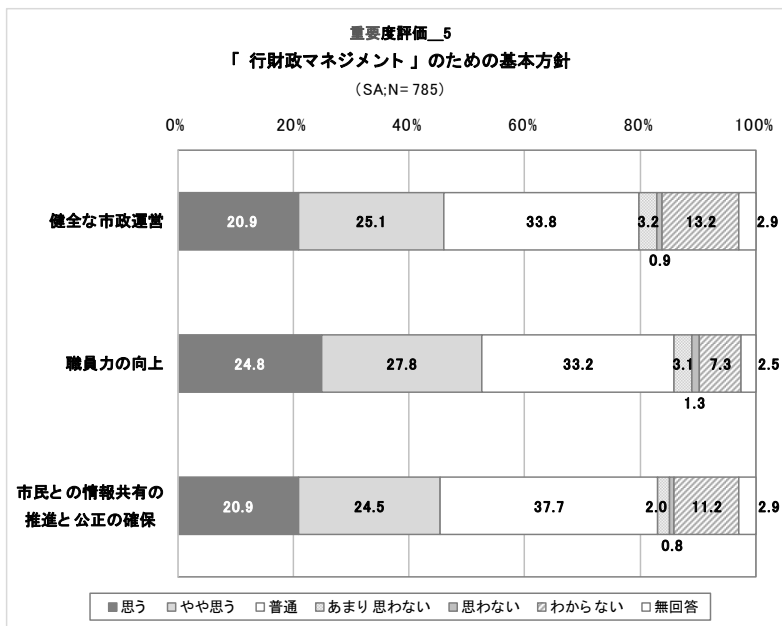
「やや思う」は「職員力の向上」が最も多く 27.8%などとなっています。

「普通」は「市民との情報共有の推進と公正の確保」が最も多く 37.7%などとなっています。

「あまり思わない」は「健全な市政運営」が最も多く 3.2%などとなっています。

「思わない」は「職員力の向上」が最も多く 1.3%などとなっています。

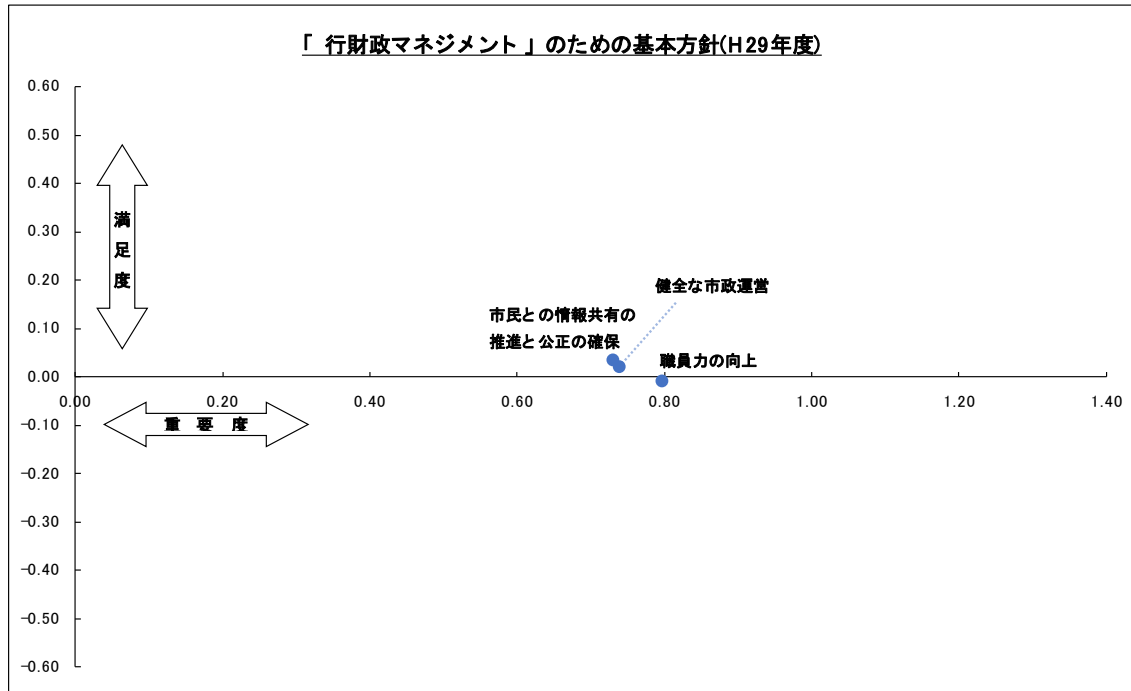
「わからない」は「健全な市政運営」が最も多く 13.2%などとなっています。



### 【満足度と重要度】

「行財政マネジメント」のための基本方針のうち、「職員力の向上」の満足度が0を下回っています。

また、全ての基本方針の加重平均の平均値（満足度 0.08、重要度 0.67）と比較して「行財政マネジメント」のための基本方針は、満足度が低く、重要度が高くなっています。



### (3) まちの住み心地や日常の生活行動など

#### ①まちの住み心地など

「そう思う」は「買い物をする環境が整っている」が最も多く 26.5%、次いで「住宅地などの住まいの環境がよい」が 21.7%などとなっています。

「ややそう思う」は「住宅地などの住まいの環境がよい」が最も多く 45.7%、次いで「買物をする環境が整っている」が 44.6%などとなっています。

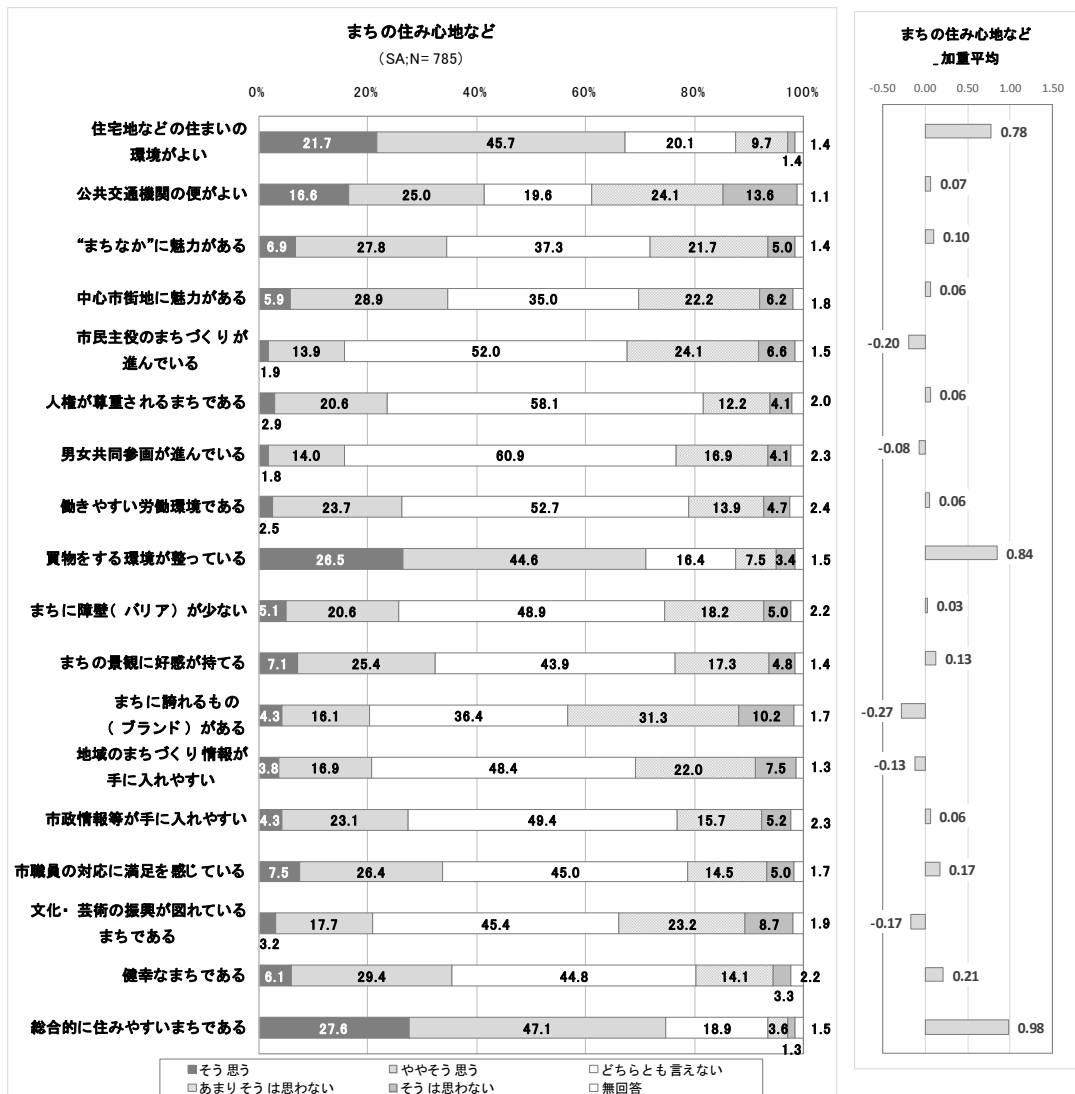
「どちらとも言えない」は「男女共同参画が進んでいる」が最も多く 60.9%、次いで「人権が尊重されるまちである」が 58.1%などとなっています。

「あまりそうは思わない」は「まちに誇れるもの（ブランド）がある」が最も多く 31.3%、次いで「公共交通機関の便がよい」と「市民役のまちづくりが進んでいる」がそれぞれ 24.1%などとなっています。

「そうは思わない」は「公共交通機関の便がよい」が最も多く 13.6%、次いで「まちに誇れるもの（ブランド）がある」が 10.2%などとなっています。

「総合的に住みやすいまちである」については、「ややそう思う」が最も多く 47.1%、次いで「そう思う」が 27.6%などとなっています。

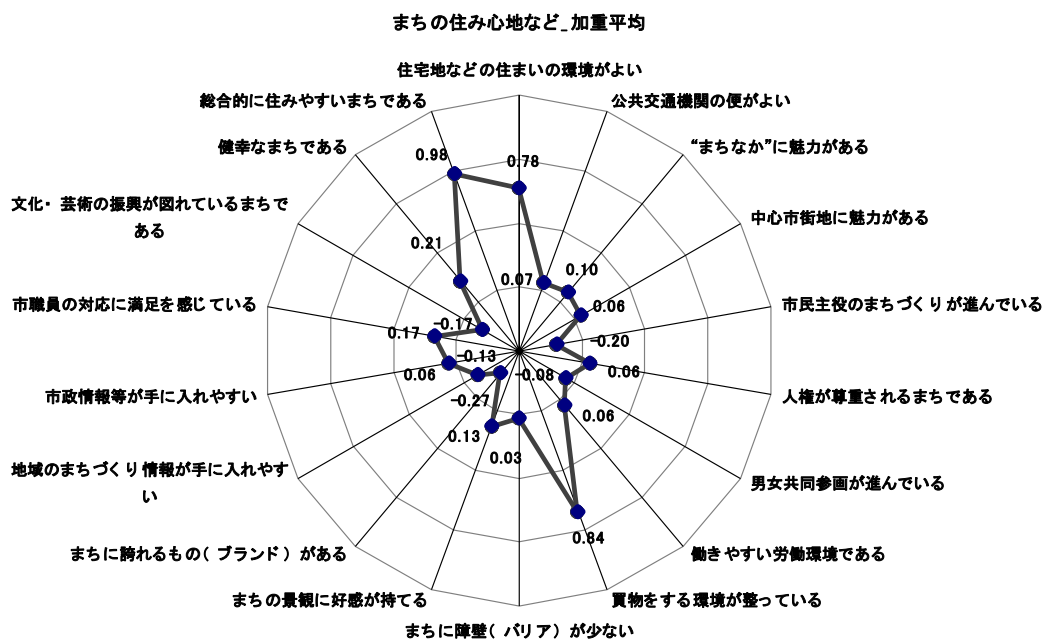
#### 【加重平均】



## 【加重平均】

「総合的に住みやすいまちである」「買物をする環境が整っている」「住宅地などの住まいの環境がよい」において評価が高くなっています。

「まちに誇れるもの（ブランド）がある」「市民主役のまちづくりが進んでいる」「文化・芸術の振興が図れているまちである」においては評価が低くなっています。



加重平均について：「そう思う（2）」「ややそう思う（1）」「どちらともいえない（0）」「あまりそうは思わない（-1）」「そうは思わない（-2）」として全体の平均値を算出したものである。

## ②日常の生活行動など

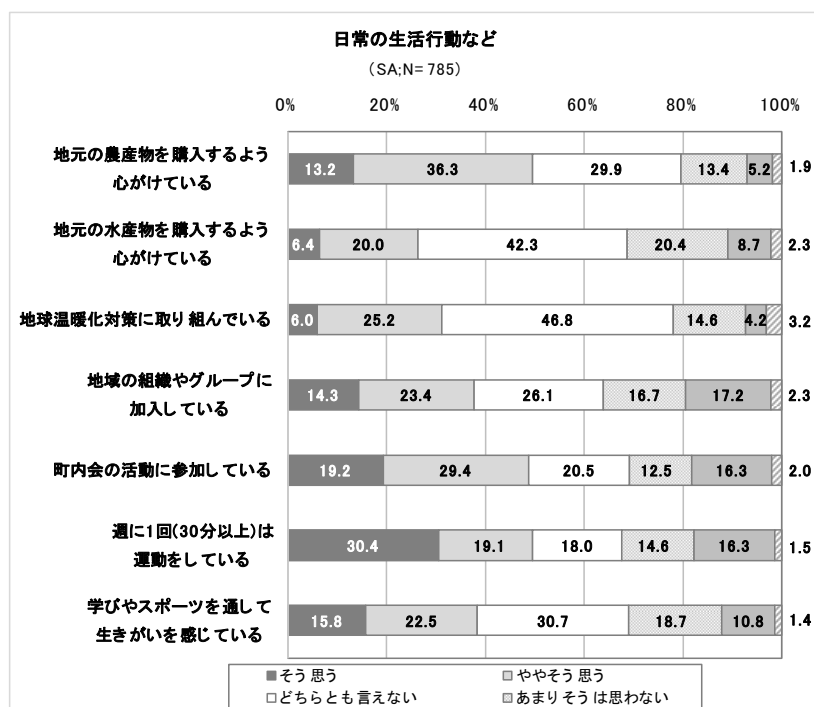
「そう思う」は「週に1回(30分以上)は運動をしている」が最も多く30.4%、次いで「町内会の活動に参加している」が19.2%などとなっています。

「ややそう思う」は「地元の農産物を購入するよう心がけている」が最も多く36.3%、次いで「町内会の活動に参加している」が29.4%などとなっています。

「どちらとも言えない」は「地球温暖化対策に取り組んでいる」が最も多く46.8%、次いで「地元の水産物を購入するよう心がけている」が42.3%などとなっています。

「あまりそうは思わない」は「地元の水産物を購入するよう心がけている」が最も多く20.4%、次いで「学びやスポーツを通して生きがいを感じている」が18.7%などとなっています。

「そうは思わない」は「地域の組織やグループに加入している」が最も多く17.2%、次いで「町内会の活動に参加している」と「週に1回(30分以上)は運動をしている」がそれぞれ16.3%などとなっています。

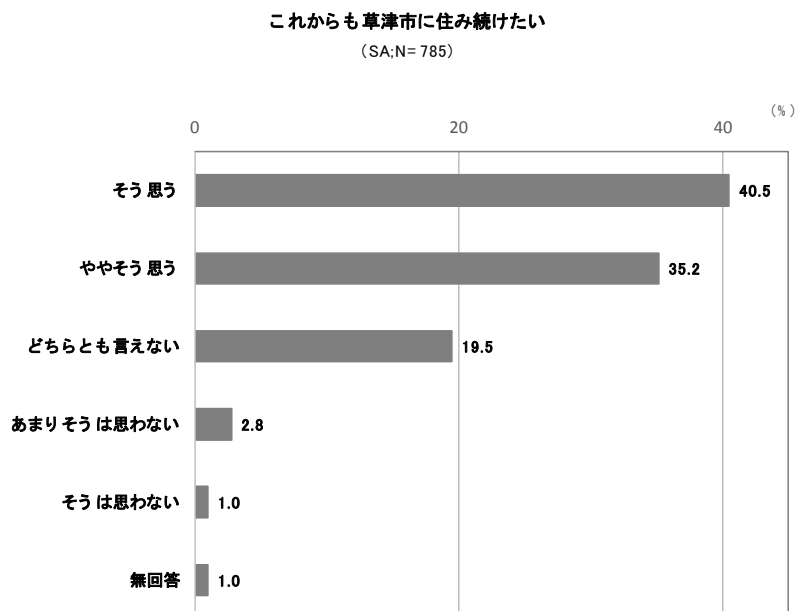
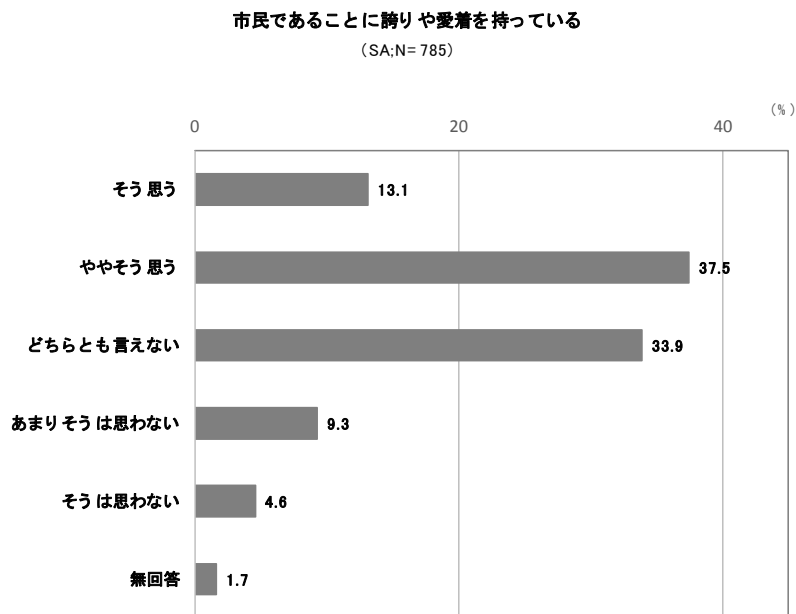




### ③市民であることの誇りや定住意向

「市民であることに誇りや愛着を持っている」については、「ややそう思う」が最も多く 37.5%、次いで「どちらとも言えない」が 33.9%などとなっています。

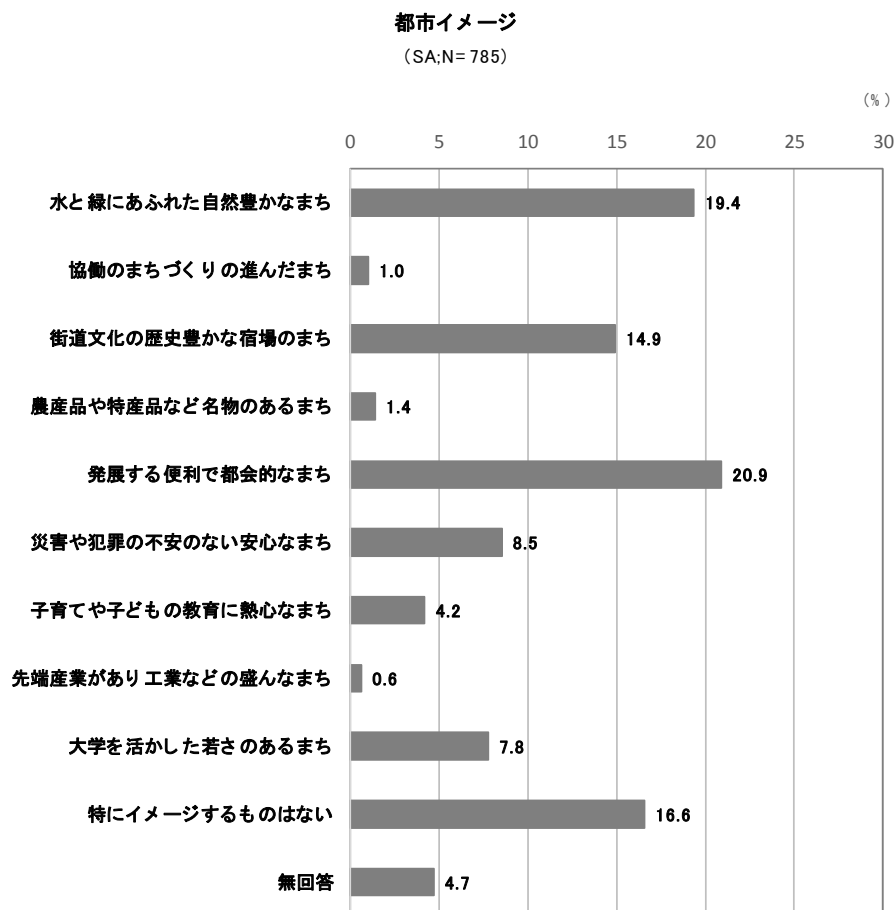
「これからも草津市に住み続けたい」については、「そう思う」が最も多く 40.5%、次いで「ややそう思う」が 35.2%などとなっています。



#### (4) 草津市のイメージ

##### ①都市イメージ

「発展する便利で都会的なまち」が最も多く 20.9%、次いで「水と緑にあふれた自然豊かなまち」が 19.4%、「特にイメージするものはない」が 16.6%などとなっています。



## ②地域資源

「烏丸半島など琵琶湖畔」が最も多く17.1%、次いで「イナズマロックフェス」が14.4%、「草津宿場まつり」が8.6%などとなっています。

